

高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業 助成申請書

記入例

■グループ概要

(フリガナ)	マルマルシニアミマモリタイ		
グループ名	〇〇シニアみまもり隊		
代表者	役職： 代表	氏名(フリガナ)： シガ 滋賀 花子	①
	連絡先： 〒525-0075 草津市笠	電話 09-xxxx-xxxx FAX 07-xxxx-xxxx Eメール	②
	携帯電話等、平日の昼間に連絡のとれる番号を記載してください。		③
連絡責任者	役職： 副代表	氏名(フリガナ)： フクシ 福祉 タロウ 太郎	④
	連絡先： 〒525-0075 草津市笠	電話 080-xxxx-xxxx FAX 077-567-0000 Eメール ☆☆@shigasyakyo.jp	⑤
	記載内容について、当会からの照会に回答いただける方		⑥

■応募概要

事業名	〇〇地区高齢者ふれあい見守り活動		
活動区分 (該当するものに○印)	<input type="radio"/> ①高齢者の支援活動	<input type="radio"/> ④障害児者支援活動	
	<input type="radio"/> ②子ども家庭支援活動	<input type="radio"/> ⑤地域づくり活動	
	<input type="radio"/> ③青年自立支援活動		
事業の趣旨	<p><活動の必要性、目的、活動概要、期待する効果等を具体的に記す。></p> <p>本地区では高齢化が進み、単身の高齢者が増加しています。このため、地域でこのようなお悩みがあると考え、グループを立ち上げました。</p> <p>訪問のきっかけとして、メンバーが趣味や特技を生かして手作りの独居のお年寄りのおたくを訪問、見守りと日常生活における困りごとを相談します。</p> <p>【期待する効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンバーの趣味を生かし、独居のお年寄りの孤立・孤独を防いでふれあう機会をつくることができる。 ・高齢期にも安心して住み続けられるまちづくりができる。 		
助成金所要額	100,000	円	※千円未満は切り捨て(限度額10万円)

必ず千円未満を切り捨てして記入してください。
(例) 「89,500円」 → 「89,000円」

申請する事業について、

- ・活動の必要性
- ・目的
- ・活動概要
- ・期待する効果

などを記入してください。

記入欄が不足する場合は別添も可

(様式 1-3)

■助成金所要額調書

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月までの
当該事業に関するすべての収入と支出につ
いて記載してください。

記入例

(1) 収入

	金額 (円)	詳細 (内容・単価×数)
1. 本助成金所要額	100,000	
2. その他収入額	40,000	会費 500 円×10 名×8 か月分
	30,000	〇〇市助成金
活動費収入合計 (※1)	170,000	

(2) 支出

科目	金額 (円)	詳細 (内容・単価×数)
諸謝金	10,000	勉強会講師謝礼 @5,000×1 名×2 回=10,000 円
旅費交通費		講師旅費 @1,000×1 名×2 回=2,000 円
印刷製本費		チラシ作成 2000 部 10,000 円
		コピー用紙・文 5,000 円
消耗品費		材料費 56,000 円
		製作道具 8,000 円
保険料	3,000	ボランティア保険料 @300×10 名=3,000 円
賃借料	8,000	会館使用料 @1,000×8 か月=8,000 円
備品費	60,000	マシン @30,000×2 台=60,000 円
助成対象経費合計⑦	162,000	
助成対象外経費		
食糧費	8,000	打合せ お茶・茶菓子
助成対象外経費合計⑧	8,000	
活動費支出合計 (⑦+⑧) (※2)	170,000	

対象経費の科目は、申請
要項の「科目一覧表」を参
照してください。
※それ以外の科目名では
記入しないでください。

食糧費は助成対象外経費です。
(活動材料としての食材は除く)

活動費収入合計 (※1) と
活動費支出合計 (※2)
は、金額を一致させてく
ださい。

○「活動費収入合計 (※1)」と「活動費支出合計 (※2)」は同額であることを確認してください。